

平成31年4月1日から令和2年3月31
日までの事業報告書

令和2年5月13日

一般社団法人日本繊維機械協会

1. 貿易促進事業

(1) ITMA2019 の協賛事業

① 欧州繊維機械製造事業者団体(CEMATEX)が主催する ITMA2019 は、スペインのバルセロナで2019年6月20日～26日に開催されました。

日本繊維機械協会(以下、「協会」と略す。)は、CEMATEX とのパートナーシップ契約を締結し、国内の繊維機械メーカー及び繊維関連団体等を通じて広く展示会の開催告知を行うとともに出展手続き支援等を行いました。その結果、我が国からの出展企業は24社(前回 ITMA2015 では27社)、出展床面積は3,212 m²(同 3,738 m²)で、前回の ITMA2015 を若干下回りました。

協会は、会場運営等に関する出展者の要望を主催者へ事前に申し入れを行うとともに、会期中は会場内に設置した協会ブースで我が国からの出展者一覧を配布する等広報活動を行いました。また、CEMATEX 及び中国紡織機械協会(CTMA)等と情報交換を行いました。

② 展示会の全体概要については、来場者数は105千人で前回2015年を14.6%下回りましたが、

	来場者数 (千人)	出展 床面積 (千m ²)	出展 企業数
2015年	123	103	1,649
2019年	105	115	1,717
スペイン	11 (%)	イタリア	364 (21%)
イタリア	10 (%)	中国	276 (16%)
インド	8 (%)	ドイツ	222 (13%)
トルコ	7 (%)	インド	169 (10%)
ドイツ	7 (%)	トルコ	164 (10%)
上位5累計	43%		70%

が、出展床面積は115千m²で11.7%、出展企業数は1,717社で4.1%前を上回りました。

国別に見ると、来場者数ではインドとトルコ。出展企業では中国、インド、トルコといったアジアの国々の存在が大きくなっています。

また、展示会の会期が7日間と長いことから会期後半の来場者が心配されましたが、最終日も6千人を超える来場者がありました。(単位; 人)

20-Jun	21-Jun	22-Jun	23-Jun	24-Jun	25-Jun	26-Jun	合計
13,568	19,868	19,027	15,515	17,117	14,179	6,024	105,298

出展企業をセクター別にみますと、仕上機(325社)、紡績機械(281社)、織機(182社)、印刷

(デジタル捺染/インクジェットプリンター; 157 社)、編機(136 社)でした。中でも、インクジェットプリンター等の印刷は前回にと比べて出展社数が約 4 割増となりました。

③ ITMA2019 について、日本から出展した 20 社のアンケート調査をみますと、「ITMA への出展回数(ITMA2019 を含む)」は3回以上が 17 社で、残りの 3 社は 2 回目でした。新規に参加された企業はありませんでした。また、展示会の総合的な満足度は「12 社が満足」でした。

次の ITMA2023 へ出展するかについては、15 社が出展すると回答しました。

ITMA への出展回数	初めて(0 社)	2回目(3 社)	3回以上(17 社)
出展しての総合的な満足度	満足(12 社)	普通(8 社)	不満(0 社)
前回 ITMA2015 との比較			
来場者数	多い(7 社)	普通(12 社)	少ない(1 社)
商談への手がかかり	多い(8 社)	普通(8 社)	少ない(4 社)
出展目的の達成度	高い(9 社)	普通(11 社)	低い(0 社)
展示会の運営について	良い(5 社)	普通(13 社)	悪い(2 社)
次回 ITMA2023 について			
出展するか	出展する(15 社)	出展しない(0 社)	今後検討(5 社)
出展面積は	増やす(4 社)	同じ(15 社)	減らす(1 社)

展示会の申込み～搬入～会期中～搬出といった一連の工程についての改善点としては、

- ・ 出展申込みシステムが入力しにくい、動きが遅い。
 - ・ テクニカルサービス費が高い。
 - ・ 一部の展示場は搬入時に一時期エアコンが効かなかった。
 - ・ ブース内でのパートナー企業のロゴ掲出が今回から出来なくなった。
 - ・ 電源ボックスの在庫がないことから追加発注が出来なかった。
 - ・ 電気設備に関する情報開示が不十分。事務局担当者は設備に関する知識が無い。
 - ・ 初日の入り口が大変混雑した。開場時間を早くして欲しい。出入り口の数を増やして欲しい。
- これらの要望については、事務局へ伝え、次回展示会での改善に務めます。

④ 展示会会期中に行った諸外国との意見交換について

村田会長は、CEMATEX の Mr Fritz P. MAYER 会長(ドイツ)、Mr Ernesto MAURER 副会長(スイ

ス)、Mrs Cornelia BUCHWALDER 事務総長(スイス)と面談し、最近の繊維機械の市場動向等について意見交換を行いました。

CTMA との意見交換では、王名誉会長、Mr. Gu Ping 新会長等と就任のご挨拶をしました。その他、韓国及び台湾の工業会と繊維機械に関する展示会情報等について意見交換しました。

(2) ITMAASIA+CITME2020 の協賛事業

CEMATEX と CTMA 等は、ITMAASIA+CITME2020 を中国上海市「National Exhibition and Convention Center (NECC)」で開催します。

協会は、展示会の共催者である ITMAServices (CEMATEX の子会社) とパートナーシップ契約を締結し、日本国内からの出展者募集及び出展者支援等を積極的に行いました。

ITMAASIA+CITME2020 は、今般のコロナウィルス禍の影響を回避するために、申込期限を2020年2月28日から3月27日まで約一ヶ月間延長しました。その結果、日本からの3月末日時点での申込み社数は32社、床面積合計は3,594㎡で前回2018年比約△8.4%減となりました。なお、2018年に引き続き2020年も出展する企業(表中(※))は30社で、その床面積はほぼ前回並みとなっています。

	展示会開催時期	出展企業数	出展床面積(㎡)
2016年	10月21日～25日	42	4,299
2018年	10月15日～19日	37	3,925 (※ 3,590)
2020年	10月15日～19日	32 (※ 30)	3,594 (※ 3,552)

なお、CTMA 経由での申込(主として中国企業)は、2020年は1,621社(2018年; 1,726社)で△6.1%減となっています。その床面積は18万㎡で同じでした。

(3) インドにおける展示会について

India ITME Society は、「India ITME 2020」を India Exposition Mart Ltd, Noida. で開催します。日本からの出展申込み状況は下記のこと。

	展示会会期	出展企業数	出展床面積(㎡)
2016年	12月3日～08日	16	1,146
2020年	12月10日～15日	5	792

協会は、国際・貿易問題研究会を開催して、会員企業のインド市場における課題や展示会に関する改善要望等を取りまとめ、現地大使館や JETRO 等関係機関や展示会の主催者である India ITME Society へ働きかけして、改善に向けて努力します。

(4) 中国で新たに開催する展示会について

① CTMA 王名誉会長が令和元年 8 月に来日し、新たな展示会について下記のように説明を受けました。

CTMA は、これまで展示会を開催しなかった、2021 年と 2023 年に深圳で、繊維機械に留まらず紡績からアパレルまでの繊維産業も含めた新たな展示会を開催する事で CEMATEX と合意しました。この措置は上海 Tex への繊維機械メーカーの出展を阻止することを目的としたもので、上海 Tex を潰した後に開催回数を減らす方向で検討すると発言しました。

② 本件への対応についての参与会での議論

- ・ 基本的な考え方は、中国での展示会開催の回数が多いという意見が大宗でした。
- ・ 協会がどのような立ち位置で本展示会へ参画するかについては、現状は人的能力、財政規模に照らしても CTMA/CEMATEX 同様に主催者としての参画は困難であると事務局より表明したところ。委員からは主催者として参画すべきとの意見はありませんでした。逆に、協会が主催者という立場になるとビジネスに基づく出展判断とは別に主催者として応分の出展等を求められる等のリスクがあるとの指摘を受けました。
- ・ 協会会員企業の出展については、自社の輸出に占める中国向け比率が低い会社にとっては新しい展示会の開催コストは大きな負担になるので、協会全会員企業が新たな展示会へ出展する旨の表明を協会が行うのは難しい。他方で、中国向けの輸出の割合が高い会社にとっては、また、欧州競合企業が出展するのであれば出展を考えなければいけないといった事情がある会社があるのも事実だとの意見がありました。
- ・ このような議論を踏まえ、新たな展示会への会員企業の出展については個々の企業の判断で対応したら良いのではないかとの意見が大宗を占めました。

③ このような経緯を踏まえ、令和元年 11 月 15 日に開催した第 148 回理事会においては、

- ・ 協会は新たな展示会的主催者としては参画しないこと

- ・ 新たな展示会への参加は各社の判断によること、の二点について合意しました。

④ 新しい展示会を含む世界での繊維機械開催の周期

年	EU	中国	上海Tex
2015	ITMA (Milan)		17 t h
2016	×	ITMAASIA(上海)	×
2017	×	×	18 t h
2018	×	ITMAASIA(上海)	×
2019	ITMA(Barcelona)	×	19 t h
2020	×	ITMAASIA(上海)	×
2021	×	New Exhibition(深圳)	20 t h
2022	×	ITMAASIA(上海)	×
2023	ITMA (Milan)	New Exhibition(深圳)	21 t h
2024	×	ITMAASIA(上海)	×

2. 参与会の開催について

(1) 令和元年10月11日(金) 村田機械(株)加賀工場にて第 266 回参与会を開催しました。議題は、① 第 148 回理事会/第 56 回臨時総会の開催について、② CTMAの諸活動について(新たな展示会について、標準化規格への対応について、知財活動について)、③ 令和元年度事業の進捗状況について、④ 今後の協会事業の予定について議論しました。参与会終了後は加賀工場を見学しました。

(2) 令和2年3月5日(木) 東洋紡糸工業(株)忠岡工場において 267 回 参与会を開催しました。議題は、① 令和2年度事業計画(案)について、② 令和2年度予算(案)について、③ 任期満了に伴う理事・監事、役員及び顧問の改選について議論しました。

中でも、事業計画 5. 物づくり・繊維機械の魅力等情報事業については(新人社員採用対策)、下記のような意見があった。

各社における新人等の採用状況について

- ・機械系は量的には採用できているが、電気(IT)、文系及び高専の採用は難しい。
- ・若手社員(大学 OB)のルートを活用して後輩にあたる若手を採用している。
- ・韓国の大卒をリクルートしたが、優秀な学生を採用できた。

- ・営業セクションの人材採用が困難である。
- ・工場が立地する地域での採用は比較的容易だ(地元で有名なこの会社へ入りたかった。)

新人採用等で効果的なアプローチ

- ・インターンシップは効果的であった。アパレルが好きな学生が縁もゆかりも無い当社のインターンシップへ応募してきて(優秀だったので)採用に至った。
- ・最終製品(完成形)を見せると感激する。
- ・大学とのチャンネルの一つとして日本繊維機械学会がある。協会の会員企業は学会へ参画しているなので、このチャンネルを活用すべき。

今後のアプローチ

- ・電気(IT)系・文系及び高専へのアプローチについては、協会が学会(前・会長等)と意見交換する。
- ・今後は、月一程度、メールベースにて議論を深める。

参与会終了後は、東洋紡糸(株)忠岡工場・春木工場、島精機ミュージアムを見学しました。

3. 知財委員会の活動について

(1) 第 57 回委員会; 令和元年 6 月 5(木)にTMTマシナリー(株)松山工場にて開催しました。

① ITMA2019 について、協会会員企業のスペインにおける知財権の有無等現状整理、各委員の出張スケジュール、展示会での各社の活動予定の紹介を行った。

② 上海 Tex での活動予定について

③ CTMAとの意見交換(上記上海 Tex 帰国時に北京にて開催); ITMAASIA2020 の IPR OFFICE の運用改善について、事前警告書の発出について、第二回知財セミナーについて等意見交換しました。

④ 知財委の委員長であった村田機械・大島さんは任期満了につき、津田駒・室井さんに交代しました。

⑤ 年度行事予定を共有しました。

(2) 第 58 回委員会; 令和元年 11 月 1 日(金)に豊田自動織機 名古屋支社にて開催しました。

① ITMA2019 における各社の活動についての情報交換(出展社の権利侵害の確認と措置内容、展示物の公証について等)

- ② 上海 Tex 2019 への各社の対応について
- ③ 特許庁担当官を招聘して開催する委員会(12/13;東京)の開催について

(3) 第 59 回委員会; 令和元年 12 月 13 日(金)に機械振興会館にて開催しました。

① 「最近の知財情勢と施策紹介」について、特許庁・佐々木審査長より下記資料を用いて御講演をいただきました。

資料1: 最近の知財情勢と施策紹介

資料2: 特許出願・審査等に関する統計資料

資料3: ドイツ語由来の技術用語集～結合・加工技術編～

② 下記について、特許庁担当官と意見交換をしました。

Q1: PCT協働調査について日本語出願の受け入れが開始について

Q2: AIコアの審査について

Q3: 日米及び日欧間の進歩性判断乖離に関する調査について

③ 事前に当方より提出した質問及び要望事項について特許庁担当上席審査官より回答がありました。

④ 上海 Tex における模倣品の実態等各社からの報告

⑤ ITMAASIA2020 の運用等に関する CTMA との意見交換の結果等について

⑥ 中国の知財概況(JETRO 北京事務所にて聴取した内容)について報告

⑦ 来年度の活動について

4. 外国政府機関/業界団体等との活動

(1) 令和元年 10 月 16 日 CTMA との意見交換(在北京 CTMA 事務所にて)

① CTMA が策定中の標準化規格への対応について

② 新たな展示会について

③ ITMAASIA2020 における知財活動について

(2) 令和元年 11 月 29 日 CTMA との意見交換(在北京 CTMA 事務所にて)

① 新たな展示会(2021 年 11 月に深圳で開催)についての協会としての回答

② CTMA が推進している標準化について

③ ITMAASIA2020 における IPROFFICE の運用改善について

④ 上海 Tex2019 の開催状況について

(3) 令和元年11月29日JETRO北京事務所・知財部との意見交換(JETRO北京事務所にて)

① 中国における知財の状況

商標出願は、日本 20万件、中国 731万件。量から質への転換。悪意の申請は認めない。

② 地方の産権局の位置づけは、審査はしていない。基本的には行政手続きのみ(経産省本省と地方局の位置づけに近い)

③ 展示会場内のIPROfficeの運用については、知識産権局、CCPIT-TEX、CTMAの共同体での運用だが、窓口では産権局が力を持っていて、JTMAとCTMAの合意事項の運用がその通り運用されないといった事案がある。上海の知識産権局への働きかけのチャンネルとしてはCTMAが正しいルートだと考える。

5. 調査研究事業

(1) 繊維機械統計表の作成

協会は、我が国の繊維機械の生産活動等の実態把握を目的として、その生産(生産動態統計調査:経済産業省)、輸出・輸入(貿易統計調査:財務省)及び受注(機械受注統計調査:内閣府)に関する統計資料を広く収集し、輸出・輸入統計については生産動態統計調査と品目の概念範囲が整合的になるように(紡績機械や織機といったいわゆる品目概念で生産から輸出・輸入の需給動向を一覧で利用することが可能となる。)協会で加工集計して「繊維機械統計表」を作成しました。

また、輸出・輸入統計を生産動態統計調査と品目の概念範囲が整合的になるように貿易統計コード対応表の見直しを実施しました。そして、会員企業からのHSコード別輸出額を積み上げて我が国繊維機械に占める協会のカバレッジを推計しました。

(2) 我が国貿易統計について

上記繊維機械統計表の内、輸出統計品目表及び輸出申告上の問題もあって、生産と整合的な概念で輸出動向を把握できない一部の品目が存在しています。そこで、協会は当該品目を生産する会員企業の協力を得て、生産と輸出統計の齟齬が発生する原因の究明やその対策、時系列データの試算等について意見交換を行いました。

(3) 歴史的な繊維機械の情報収集等調査

(3)-① 産業技術史資料調査協力について

国立科学博物館・産業技術史資料情報センターが実施している、今日、散逸または失われつつある産業技術史資料の所在調査に協力しました。会員企業からは、6社から産業技術史(143件)の提供を受けて公開されています。<http://sts.kahaku.go.jp/sts/result.php?c=1147>

(3)-② 伝統的な繊維産業支援

全国の絹織物産地から力織機の供給要請がなされている現状に鑑み、各産地での実情を把握する出張は、今年度は実施しませんでした。

(4) 生産見通しの作成

会員企業を対象として、令和元年度の生産見直しについて調査しました。この調査結果は(一社)日本機械工業連合会を通じて公表されました。

(5) CTMA との協力事業

CTMA との間で、統計資料の相互交換する件については、今年度は実施しませんでした。

6. 標準化委員会の活動について

(1) JIS(日本工業規格)の定期見直し調査

JISは5年毎に定期見直しが実施されています。繊維機械及び付属品関係のJISは現在32規格あります。当協会では、(一財)日本規格協会(JSA)の調査依頼を受けて、毎年、見直し調査を実施しています。令和元年度には、見直し期限を迎える規格が無かったことから、標準化委員会所属の会員企業へのアンケート調査および確認は行いませんでした。

(2) 国際規格の定期見直し及び作成原案への対応

繊維機械及び付属品(TC72)の国際規格に関しては、国際標準化機構(ISO)から随時、加盟国/団体に諮問(投票依頼)があり、TC72の国内審議団体である当協会は随時対応しました。

令和元年度における審議対象案件は、定期見直し(SR=Systematic Review)=15規格のみで、詳

細は、別紙 1.「令和元年(2019)度における国際規格の審議対象規格<SC 別>」の表のとおりです。

上記 SR 対象規格を分科委員会(SC=Subcommittee)別にみると、

- ① SC1: 紡績準備精紡及び撚糸機械<5 件=承認>
- ② SC3: 製布機械<4 件=承認>
- ③ SC5: 工業用洗濯機器及びドライクリーニング・マシン<4 件=承認>
- ④ SC8: 繊維機械の安全制御<1 件=審議中>
- ⑤ SC10: 共通基準<1 件=承認> となっています。

(3)SC5 の委員長再任

SC5 委員長の任期満了にともない、ISO事務局より、現委員長スタイナー氏(Mr. Martin Steiner、ドイツ在勤、1959 年 6 月生まれ)の再任について諮問がありました。当協会では、同氏が、繊維機械関係規格の分野において、ISO のほかに、CEN(欧州標準化委員会)や DIN(ドイツ規格協会)の委員として活躍中であること等から、続投(再任)が妥当と判断し、賛成票を投じました。

ちなみに、同委員長の在任期間は 2014 年から 2019 年の 6 年間に及んでおり、再任の場合(正式決定は投票締切= 2020 年 4 月 23 日以降)、新しい任期は 2023 年までの 3 年間となります。

【参考】 TC/SC 委員長

委員会	委員長(幹事国)	創設年
TC72 繊維機械及び付属品	Dr. Joachim Binnig (スイス) <任期: ~2023 年>	1949
SC 1 紡績準備精紡及び撚糸機	Dr. Joachim Binnig (スイス) <任期: ~2023 年>	1981
SC 3 製布機械	Dr. Peter Stockman (ドイツ)	1988
SC 4 染色仕上げ機械 (活動休止中)	<空席>	1981
SC 5 工業用洗濯機器及びドライ クリーニングマシン	Mr. Martin Steiner (ドイツ) <任期: ~2023 年>	1995
SC 8 繊維機械の安全制御	Mr. Frank Tamberg (ドイツ) <任期: ~2022 年>	1997
SC 10 共通基準	Dr. Joachim Binnig (スイス) <任期: ~2023 年>	2012

(4) 中国 CTMA が推進する標準化施策への対応

① CTMA との意見交換(2019 年 10 月 16 日、在北京 CTMA にて)

CTMA が推進する標準化の概要は下記の通り。

- ・ CTMA 内に「紡織機械及び関連付属機器委員会」を立ち上げ、5つの機種別(カテゴリー)(① 紡績、②織機、③編み機、④化学繊維、⑤染色/印刷)について規格を検討する。
- ・ 規格には、① 国際規格(主に機械安全)、② 国家規格(食品等)、③ 業界規格(団体規格)及び④ 会社の規格がある。CTMA はそれぞれの規格について「全国紡織機械器材標準化委員会」で業界規格を作成している。「業界規格」については、異なるメーカーの異なる工程の機械がつながるような情報通信規格が必要かつ重要だ。
- ・ 規格を策定後に、規格に規定されたデータ管理等について知財権の権利化は考えていない。規格作成に参加した企業だけではなく、すべての企業が自由に利用できるようにするつもりだ。
- ・ CTMA による規格の運用及び適用に際して、クリーンな規格化、透明度をもった運用(例えば、規格に合致している旨の認証を特定機関で受ける必要があるとか、特定機器を搭載しなければならないといった運用)を申し入れ、CTMA は了解した。
- ・ 今回の規格策定の範囲は、機器の稼働状況を把握する指標(インディケータ)とその情報通信の標準化であって機器の性能を規定する製造技術等については対象外だ。特に、接続端子の形状について共通化したい。まずは新たに出荷する製品の接続端子の共通化を図りたい。その後、既に設置済みの機器への対応が必要だ。このためには、全てのメーカーの参加が必要だ。共通化は第一に接続端子。第二に通信方式だ。
- ・ 各機種別委員会へ参画するに際して、特段の手続きは必要ない。費用も発生しない。ただ、委員会へ参加するための旅費は負担して欲しい。また、委員会への参画に際しては、協会会員企業としてではなく協会(JTMA)としての参加でもかまわない。

② CTMA との意見交換(2019 年 11 月 29 日、在北京 CTMA にて)

- ・ 規格策定作業の状況は、① スピニングセクター(紡績)規格はできている。今後修正したい。
- ② 染色・印刷は策定作成中。③ 編み機:は作成中で、①横編み機(島精機)、②丸編み機(福原)、③立て編み機(カールマイヤー)の三つの規格があり、その中の横編み機と丸編み機の規格はできたが、立て編み機の規格は作成中である。④ 織機はまだ開始していない。⑤ 化

学繊維部門はまだ開始していない。

- ・ 通信プロトコルは工作機械と同じでOPC-UA で、データセットが機器毎に異なる。
- ・ この分科会規格化委員会支会は、各企業の規格の作成者で構成され、規格作成のスケジュール(案)を作り、CTMAの秘書処長(Ms. Wang Jingyir.Cong)へ提出する。CTMA は更に国家標準化委員会に報告し、答申し、許可されるなら、CTMA の内部手続きを経て規格作成スケジュールが決まる。2020年のスケジュールはない。2021年のスケジュールを作成中だ。
- ・ 上記が目標だが、今の規格は現状の各社の通信プロトコルを含んだ広いものになっている。将来的には統一したい。

7. 行政機関等への協力・交流

(1) 「中小企業等経営強化法」に係る設備投資促進税制等に関する証明書の発行について。

申請件数の推移

	合計	会員	非会員
平成 25 年度	7	2	5
平成 26 年度	445	258	187
平成 27 年度	536	352	184
平成 28 年度	914	660	254
平成 29 年度	439	298	141
平成 30 年度	675	474	201
令和元年度	448	279	169
合 計	3,464	2,323	1,141

協会は申請者サービスの一環として事前相談、申請書の事前審査を実施しております。この結果、令和元年度(2020年3月末時点)で合計448件の証明書を発行しました。

これは、中小企業等経営力向上計画の認定を受けた企業に対し、機械設備に係る固定資産税の減税措置。なお、適用期間は、令和3年(2021年)3月31日までです。

(2) 関連協会との情報共有等について

繊維等関連産業団体等との連携強化については、一般社団法人日本縫製機械工業会(ミシン)とは緊密に意見交換等を実施しましたが、日本紡績協会及び日本アパレル・ファッション産業協会、繊維輸出入組合及び日本化学繊維協会等繊維産業団体とは活動できませんでした。

8. トップセミナーの実施

寺澤達也氏(経済産業省顧問、前経済産業審議官、)に『対外経済政策の現状と課題』というテーマでご講演いただきました。今日の米中の対立の背景を、① 構造的な問題と② 二人のリーダーの個性、置かれている立場により説明されました。そして、これから日本は中国とどうやって付き合っていくのかといった方向性を示されました。

9. 総務事項 について(開催日付順)

(1) 総会、理事会及び参与会等の開催について

① 第146回理事会(書面審議)

日時 平成31年4月23日(火)

第1号議案 平成30年度事業報告(案)について

第2号議案 平成30年度収支決算書等(案)について

第3号議案 平成30年度公益目的支出計画実施報告書等の提出(案)について

第4号議案 第55回定時総会の招集及び提出議案(案)について

② 第147回理事会

日時 令和元年5月16日(木)11:00~11:40

場所 東海大学交友会館「富士の間」

第1号議案 平成30年度事業報告書(案)について

第2号議案 平成30年度収支決算書等(案)について

第3号議案 平成30年度公益目的支出計画実施報告書等の提出(案)について

第4号議案 平成31年度事業計画書について

第5号議案 平成31年度収支予算書について

③ 第55回定時総会

日時 令和元年5月16日(木) 11:40~11:45

場所 東海大学校友会館「富士の間」

第1号議案 平成30年度事業報告(案)について

第2号議案 平成30年度収支決算書等(案)について

報告事項 平成30年度公益目的支出計画実施報告書等の提出(案)について

④ 第266回参与会

日時 令和元年10月11日(金)14:00～15:00

場所 村田機械(株)加賀工場内会議室

議題1. 第148回理事会・第56回臨時総会の開催について

議題2. CTMA諸活動について(①新たな展示会、②標準化規格策定、③知財活動について)

議題3. 令和元年度上半期・業務の進捗状況

議題4. その他

⑥ 第148回理事会

日時 令和元年11月15日(金) 16:00～16:40

場所 (株)豊田自動織機「シャインズ」

議題1. 会員代表者の変更について

議題2. 理事の選任について

議題3. 中国紡織機械協会(CTMA)の活動について

3-1 新たな展示会について

3-2 CTMAが策定中の標準化規格への対応について

3-3 ITMAASIA2020における知財活動について

議題4. 令和元年度事業の進捗状況について

議題5. その他(今後の予定等)

⑦ 賀詞交換会

日時 令和2年1月14日(火)12:00～13:30

場所 東海大学校友会館「望星の間」

⑧ 第267回参与会

日時 令和2年3月5日(木)13:00～14:00

場所 東洋紡糸工業(株)忠岡工場内会議室

- 議題1. 令和2年度の事業計画(案)について
- 議題2. 令和2年度の予算(案)について
- 議題3. 任期満了に伴う理事・監事、役員及び顧問の改選について
- 議題4. その他(次回参与会開催場所・日程等)

⑨ 第149回理事会(書面審議)

日時 令和2年3月25日(水)

第1号議案 令和2年度事業計画(案)について

第2号議案 令和2年度予算書(案)について

(2) 役員の変更; 理事の変更(令和元年11月15日)

新理事 國遠 正章 旧理事 佐々木 憲夫

(3) 会員代表者の変更

① 株式会社岩間織機製作所(令和元年6月7日付)

(新) 國遠 正章 代表取締役社長 (旧) 佐々木 憲夫 代表取締役社長

② 伊藤忠システック株式会社(令和元年6月13日付)

(新) 松本 茂伸 代表取締役社長 (旧) 園田 博之 代表取締役社長

(4) 会員の異動; ① 入会; なし ② 退会; なし

(5) 期末会員数(令和2年3月31日現在)

(法人数)

会 員	令和元年度末	平成30年度末
正 会 員	21	21
法人会員	20	20
団体会員	1	1
賛 助 会 員	10	10
合 計	31	31

(6) 参与会委員（令和2年3月31日現在）

所属企業名	役職名	氏名
株式会社島精機製作所	執行役員 総務人事部長	今井 博文 (平成29年5月29日)
津田駒工業株式会社	取締役 繊維機械販売部長	寺田 武志 (平成30年3月23日)
TMTマシナリー株式会社	常務理事	四宮 進一郎 (平成26年10月27日)
株式会社豊田自動織機	経営役員 繊維機械事業部長	伊藤 浩一 (平成28年4月1日)
株式会社平岩鉄工所	化学機械部長	齋藤 和良 (平成29年9月26日)
福原産業貿易株式会社	専務取締役	福原 正則 (平成26年11月1日)
村田機械株式会社	執行役員 繊維機械事業部 営業統括部長 兼 大阪支社長	野村 貫則 (平成29年5月18日)

(企業名の五十音順)

(7) 会員への情報提供

平成31年4月 1日 新たな外国人材受入制度について

4月 1日 設計技術者、生産技術者に対する機械安全・機能安全に係る教育について

4月 4日 金型管理の実態調査依頼

4月 8日 2018FLEX Japanからのお知らせ

4月 9日 英国のEU離脱に関する「合意なき離脱」による影響調査

4月10日 対北朝鮮の輸出入禁止措置について

4月15日 JETRO・ビジネス短信のご案内

4月16日 ISO定期見直しの検討依頼

4月19日 繊維機械統計(2019年2月分)の送付

4月24日 平成31年度当初ものづくり・商業・サービス補助金公募開始について

4月24日 CHINA IP Newsletterのご案内
令和元年5月 9日 ITMAASIA+CITME2020の会期について
5月10日 リスク評価結果等に基づく労働者の健康障害防止対策の実施について
5月15日 理事会等のドレスコードについて
5月20日 コンテナへのヒアリ侵入防止等に係る事業者への協力依頼について
5月21日 トランプ・アメリカ合衆国大統領来日に伴う警備協力について
5月22日 繊維機械統計(2019年3月分)の送付
5月29日 時間外労働等改善助成金のご案内
6月 3日 新価値創造展2019のご案内
6月 3日 夏期省エネルギーの取り組みについて
6月11日 大河内賞受賞候補者推薦のお願い
6月13日 2020年輸出入統計品目表改正品目統合案について
6月17日 繊維機械統計(2019年4月分)の送付
6月17日 製造業における外国人材受入に関する相談窓口の設置について
6月24日 製造業における特定技能外国人材受入れセミナーの開催について
6月27日 経営における知的財産戦略事例集について
6月27日 技術等情報の管理に向けた専門家派遣事業の説明会について
7月 4日 スペイン経済の現状(JETRO)のご案内
7月12日 繊維機械統計(2019年5月分)の送付
7月18日 経済産業省の担当官の異動について
7月31日 令和2年度全国発明表彰募集のご案内
7月31日 令和元年度発明大賞についてのご案内
8月 5日 研究開発税制の改正について
8月 5日 製造業の知的財産関係優越的地位の濫用実態調査報告書について
8月15日 繊維機械統計(2019年6月分)の送付
8月19日 消費税率引上げに向けた特設サイトのご案内について
9月 3日 繊維機械統計(2019年1-6月分)の送付
9月 3日 ISO3件の定期見直し投票結果について
9月 4日 天皇陛下御即位関連式典に係る警備協力について

- 9月12日 DX 推進指標の周知及び自己診断結果の報告について
- 9月17日 繊維機械統計(2019年7月分)の送付
- 9月24日 ハザード地区における危険物施設の流出防止対策の促進について
- 9月25日 10月22日の国旗掲揚につきまして
- 9月26日 下請取引適正化推進月間の実施について
- 10月15日 繊維機械統計(2019年8月分)の送付
- 10月23日 中小企業へのしわ寄せ防止に向けて
- 10月23日 ISO定期見直しへの投票依頼について
- 10月31日 繊維機械統計(2019年1-8月分)の送付
- 11月 5日 令和元年十月十一日から同月十四日までの暴風雨及び豪雨により影響を受けている下請中小企業との取引に関する配慮について
- 11月12日 改正労働安全衛生法対応リスクアセスメントセミナーのご案内
- 11月18日 繊維機械統計(2019年9月分)の送付
- 11月28日 特許庁委託事業「海外知的財産権最新情勢セミナー～インド・中東アフリカ・韓国・台湾・中国編～12/19(木)」のご案内
- 12月11日 製造業における特定技能外国人材受入れセミナーのご案内について
- 12月13日 繊維機械統計(2019年10月分)の送付
- 12月23日 コネクテッド・インダストリーズ税制(IoT 税制)の廃止に伴う対応のお知らせ
- 12月23日 各国・地域における貿易・投資・現地生産上の問題点に関するアンケート調査(2020年)へのご協力をお願い
- 12月27日 中小企業等に対する時間外労働の上限規制の適用について
- 令和2年 1月20日 繊維機械統計(2019年11月分)の送付
- 1月21日 風水害発生時における毒物及び劇物の保管管理等について
- 1月27日 連絡体制の構築について
- 1月28日 新グローバルニッチトップ100選の公募開始について
- 1月31日 中国における新型コロナウイルスの発生(一部地域の感染症危険レベルの引上)
- 2月 3日 特定技能外国人材制度の評価試験受験者の見込調査について
- 2月 3日 地方発明表彰のご案内
- 2月 6日 デクロンプラス(難燃剤)に係る含有状況等調査への協力をお願い

- 2月 6日 中国での今後の影響調査
- 2月 7日 感染症対策に係るご協力をお願い
- 2月 7日 外国人労働者について
- 2月 7日 中国における新型コロナウイルスの発生について(外務省スポット情報更新)
- 2月13日 中国における新型コロナウイルスの発生について(外務省スポット情報更新)
- 2月14日 労働安全衛生法の一部改正について
- 2月17日 中国における新型コロナウイルスの発生について(外務省スポット情報更新)
- 2月18日 個人サンプリング法による作業環境測定及びその結果の評価に関するガイド
ラインについて
- 2月19日 繊維機械統計(2019年12月分)の送付
- 2月20日 中国における新型コロナウイルスの発生について
(従業員の方が休みやすい環境整備に向けての協力依頼)
- 2月25日 繊維機械統計(2019年1-12月分)の送付
- 2月25日 令和3年3月新規中学校・高等学校卒業者の就職に係る推薦及び選考開始期日等
並びに文書募集開始時期等についての通知
- 2月28日 ISO 定期見直し(ISO23771)への投票依頼について
- 3月 4日 働き方改革関連法等解説教本のご案内
- 3月 9日 日 EU・EPA の活用実績についてのご照会の件
- 3月10日 3月11日大臣訓示の実施について(実施方法変更、弔意表明について)
- 3月11日 老朽化した生産設備における安全対策の調査分析事業の調査報告書及び
パンフレットのご案内
- 3月18日 繊維機械統計(2020年1月分)の送付
- 3月23日 新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者の皆様へ(支援策パンフレット)
- 3月25日 立皇嗣宣明の儀当日における国旗掲揚の協力依頼について(4月19日)
- 3月30日 新型コロナウイルス感染症で資金繰りにご不安を感じている事業者にいただける支
援策チラシについて

<別紙1.> 令和元年(2019)度における国際規格の審議対象規格<SC 別>

1. 国際規格の審議状況<定期見直し(SR)、最終国際規格原案(FDIS)>

(1) 定期見直し(SR=Systematic Review)

1. SC 1<紡績準備精紡及び撚糸機械>

規格番号	標 題	審議結果
1 ISO 96-2:2009(Ed2,vers2)	繊維機械及び附属品～リング精紡機及び合糸機のリング及びトラベラ～第2部:HZリング及びJリング及びそのトラベラ(修正2、第2版)	2019.12.02 承認
2 ISO 93-1:2006	繊維機械及び附属品～円筒スライバ缶～第1部:主要寸法	2020.03.03 承認
3 ISO 93-2:2006	繊維機械及び附属品～円筒スライバ缶～第2部:スプリング底	〃
4 ISO 5234:2005	繊維機械及び附属品～金属針布～寸法、タイプ及び取付の定義	〃
5 ISO 9947:2005	繊維機械及び附属品～ダブルツイスタ～用語	〃

2. SC 3<製布機械>

規格番号	標 題	審議結果
1 ISO 366-2:2009(Ed2,vers2)	繊維機械及びその附属品～おさ～第2部:プレートボークを持つ金属おさの寸法及び表示法(修正2、第2版)	2019.09.03 承認
2 ISO 366-3:2009(Ed2,vers2)	繊維機械及び付属品～おさ～第3部:ダブルスプリングボークを持つ金属おさの寸法及び表示法(修正2、第2版)	〃
3 ISO 11676:2014(Ed2)	繊維機械及びその附属品～たて編機用パターンディスク及びパターンチェーン～用語及び記号(修正2)	〃
4 ISO 12912:2014	丸編機械～用語	2019.12.02 承認

3. SC 5<工業用洗濯機器及びドライクリーニング・マシン>

規格番号		標 題	審議結果
1	ISO 9398-1:2003(Ed 2,vers 3)	業務用洗濯機～定義及び能力試験並びに消費特性～第 1部:平たい布製品のアイロン仕上げ機(修正2、第3版)	2019.06.04 承認
2	ISO 9398-2:2003(Ed 2,vers 3)	業務用洗濯機～定義及び能力試験並びに消費特性～第 2部:バッチ乾燥機(修正2、第3版)	〃
3	ISO 9398-3:2003(Ed 2,vers 3)	業務用洗濯機～定義及び能力試験並びに消費特性～第 3部:トンネル型洗濯機(修正2、第3版)	〃
4	ISO 9398-4:2003(Ed 2,vers 3)	業務用洗濯機～定義及び能力試験並びに消費特性～第 4部:洗濯-脱水機(修正2、第3版)	〃

4. SC 8<繊維機械の安全制御>

規格番号		標 題	審議結果
1	ISO 23771:2015	繊維機械～騒音発生の低減のための繊維機械の設計の 手引き	2020.06.03 <審議中>

5. SC 10<共通基準>

規格番号		標 題	審議結果
1	ISO 10782-1:1998	繊維工程の制御及び監視のためのデータ要素の定義及 び属性～第1部:紡糸、紡糸準備及び関連工程	2019.06.05 承認

(注) 審議結果の年月日は、投票締切日(採択日)。